

神奈川、静岡、山梨、青年部第二回「産三山プロジェクト」(三保の松原清掃活動)

日時 平成29年10月6日(金)～

場所 静岡県清水区三保の松原

参加者：神奈川県、静岡県、山梨県青年部 60名

■ 神奈川県産業資源循環協会、静岡県産業廃棄物協会そして山梨県産業廃棄物協会と、ブロックを超えた共同事業として「産三山プロジェクト」が、本県の高橋青年部会長の呼びかけで昨年発足したところである。今年、静岡県の海野青年部会長のお骨折りで静岡市の「三保の松原」において、平成29年10月6日、小雨の降る中、約60名の三県青年部のメンバーが参加し、ゴミ拾いの清掃活動を行うとともに、会員間の交流を深めたところである。

■ 「三保の松原」といえば、日本新三景、日本三大松原の一つとされ、国の名勝に指定されている。また、ユネスコの世界文化遺産「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産に登録されている。富士山にもゆかりがあり、昨年実施した「富士山清掃活動」に続く第二回の活動場所に相応しい場所ともいえる。

■ さて、国の名勝の一つである「三保の松原」ではあるが、現状はといえば、枯れた松もチラホラ見られ、海岸には、家庭ゴミや発泡スチロール等々が散らばっており、ゴミ拾いにはやりがいのある場所であった。参加者は、小雨の中、約1時間かけて海岸沿いの清掃に、汗を流しながらも集中していた。また、山と海の違いがゴミの種類にもはっきりと表れており、ここでは家庭ゴミなどが漂流物として多く流れ着いていた。回収の成果としては、日用品などの家庭ゴミ、観光客が残した飲食物の容器など2tトラック1台分にもなるゴミの量であった。

■ 「産三山プロジェクト」は、中部ブロックの静岡県、関東ブロックの山梨県と神奈川県といったブロックを超えた共同事業として発足したが、今後想定される大災害や大地震等が発生した場合の救助活動や災害復旧・復興の取組に当たっても、ブロックを超えた広域的な活動に生かせるようにできればと思うところである。

■ 高橋青年部会長は、青年部の活動方針として、「青年部会員が誇りに思える事業に取り組んでいく」ことを掲げており、こうした取組の一つひとつが協会の、そして産業廃棄物業に対するプラス評価に結び付けてくれる事を願ってやまない。

また、参加者の女子から「私の出身地が三保の松原で、幼少のころ、この海岸でよく遊んだ。富士山は真夏でも雪が被っていて、三保の松原からの富士山は絶景で、この海岸は、ゴミが一つもなくいつでも天女が舞い降りてくる様な、懐かしい三保の松原に戻ってくれればと思い参加した。」と聞く。

